

# オクトピア女性セミナー大盛会 女性が地域に活力を！！

去る11月7日（水）長門圏域の女性を対象に、トレーニングセンターで開催されました。

「ともに創ろう21世紀・男女の共同参加をめざして」をテーマとし、婦人の地位や福祉の向上、男女平等を基本とした共同参加型の社会づくりをめざし熱い討論がかわされました。

## 共存していける社会を

今回のこの女性セミナー参加は、ぼんやりと日々を過ごしている私にとって良い刺激剤になり、男女のかかわり方について改めて考えることができました。

活動事例発表からは、発表者の男女共存への努力と自信が感じられ、家事や女性の仕事・勉強に対する男性の意識の変化をみることができました。

しかし、社会は常に変化しており、日本は今、出生率低下という大問題をかかえています。近年急激に広まった男女平等の考え方や、あまりにも遅すぎる政治（体制）の対応との間で出るべくして出てきた現象ではないでしょうか。

全てを社会、政治のせいにするのは良くないことですが、講師の先生も言われたように、これを変えていかなければ、男女共存社会は成立しません。そのためには、男女共に世の中の変化に即した柔軟な考え方が必要とされます。能力の違いを“男女差”ではなく“個人差”として認識し、男女がお互いに認め合い、特性を生かし、共存していける社会になることを信じ、自分自身も成長していきたいと思えます。



中村 早苗さん（向山）

## 輝く女性に

セミナーに参加して感じた事は、前向きに生きる女性は輝いて見えるという事でした。そして今までの自分があまりにも不勉強で無関心だった事をつくづく反省させられました。

21世紀を目前に、世の中はめまぐるしく変動しています。当然のことながらそこに生きる人間は男性も女性も様々なことで意識の変革を求められてきています。女性が経済的、精神的自立をしたうえで男女がお互いの個性を認めあい助けあって共に生きること、この「自立」と「共生」が21世紀の理想的社会へのキーワードだと富安先生はおっしゃいました。

私は女性が本当の意味で自立するためには、単に主義主張をおしとおすことばかりではなく、それぞれの立場で、生きがい求めて学習しながら向上し、前向きに生きることが大切なのではないかと思いました。そしてそれを理解し協力し支えてくれるのが家族であり、家庭なのだということが気が付きました。私もこの家庭を大切にしながら、輝いて生きて行けるように努力したいと思っています。



椋木不二代さん（宗頭）

## まずは身近な家庭から

新しい時代に対応する男女共同参加型社会づくりをめざして、共に創る21世紀……実践を進めるための婦人コーディネーターの養成をするためのセミナーが、この北浦の三隅町で開催された。戦前の教育を受け、中国の朱子学に基づく「女三従の教え」を美徳の様に思い、男性に頼り切って生きて来た私には、一寸抵抗のあるセミナーだなと直感しました。でも此のセミナーに参加し今からの女性は客体として生きることをやめ主体的に生きなければいけないことに気づきました。女が人中で口を開けば、「あの女は生意気」とか「女のくせに」とか色々陰口が出ていました。生れ乍らにして男女の性格の違いはあります。それを理解し長所を出し合い、女が輝いて生きるためには、政策決定の場にも参加出来る様に成長していかなければいけない事を、強く感じたすばらしいセミナーでした。今後女性ばかりでなく男性と共同のセミナーが近くで開催され、まずは身近な家庭からを目標に、自然にしなやかに男女共同参加型社会に変わって行くことを期待しております。



三好ヒナ子さん（土手）